



電車に乗って遠足へ

園長 池田 克子

先月は、明化小学校の体育館をお借りし、4年ぶりに全学年一緒の運動会を行いました。ご来賓の皆様、保護者の皆様の温かいご声援を受け、一人一人の子どもたちが自分の力を発揮することができました。今年は他学年の競技を見合う機会が多くもてたこともあり、運動会後も、年中組が年長組にバチを借りて八木節を一緒に踊ったり、年少組が年中組と一緒に玉入れをしたりなど、互いの競技や踊りを教え合って遊ぶ姿も見られ、異年齢での関わりの中で、運動会の余韻を楽しむ姿がたくさん見られました。

さて先日、秋晴れの気持ちのよい天気の下、年長組は『はなやしき』へ電車に乗って遠足に行ってきました。バスでの遠足は、バスに乗ればそのまま現地まで連れて行っていただけますが、電車では、自分で歩き、いくつかの電車を乗り継いでいかなければなりません。千石駅から浅草駅まで2回乗り継ぎ、3つの電車に乗りました。「ホームで並んで待つ」「乗っているお客さんが電車を下りた後に乗る」「電車の中では静かに過ごす」「降りる時には、ホームと電車の隙間に気を付ける」など、電車に乗る時のマナーを知るよい機会となりました。

電車の中では、「電車が揺れた時に転ばないように、手すりにつかまっていよう」とみんなで手すりにつかまったり、「少し足を開いて乗るといいね」などと言いながらバランスをとって立ったりなど、子どもたちなりに家族と乗る時より緊張感をもっているように感じる姿もある反面、自分たちで乗れたという自信のようなものも感じられました。乗り換えでは、全て階段を使っての乗り換えです。長く上までつながっている階段を見上げると、「え～、また階段～」なんて声も子どもたちから聞こえてくることもありましたが、最後まで頑張って登る姿に年長児の頼もしさを感じました。今回の遠足を通して、電車に乗る時のきまりや約束、マナーを守って乗れたことは、年長児にとって貴重な経験と大きな自信につながったのではないのでしょうか。子どもたちの頼もしい姿を見ながら、日々しっかり歩くことの積み重ねの大切さを感じるきっかけにもなりました。

拾った落ち葉や木の実を手にとって登園する子どもたちの姿が見られ、秋の深まりを感じます。お子さんとの会話を楽しんだり、身近な秋を発見したりしながら、親子で歩いて登降園してみたいかがですか。



電車の乗り換えの様子（年長組）